

# 辻井タカ子後援会だより

2005年  
8月

第95号

辻井タカ子のホームページアドレス  
<http://www.t-takako.jp>

発行者：日本共産党富木島後援会  
連絡先：堀本：604-5820  
：辻井：604-7914



## 辻井タカ子議員の報告

### 憲法9条を守る運動を広げ 平和教育が大切にされるまちづくりを!

郵便局がなくなったら...ホントに困る。生活、仕事上でも郵便局は近くにあり、恵まれてきた。顔なじみになると局に入るだけで笑顔で迎えてくれる。地域の人たちの作品の展示も待ち時間の楽しみだ。これから高齢者は多くなるのに、歩いて行けて、手数料のかからないお金の出し入れはとても貴重なこと。どうしても郵政民営化は納得できない!



### みなさんの声

#### 富木島校区の避難所体育館の耐震化計画

避難所でもある学校体育館の早急な耐震化を求めてきましたが、その耐震化計画が明らかになりました。

富木島中学校体育館は、19年度改築

富木島小学校体育館は、20年度補修

中央町：Oさん...  
憲法改悪することは安易に考えてほしくない。それにしても小泉さんは自分勝手すぎて困る、早くやめてほしい。  
石ヶ根：Eさん...  
私たちは戦争でコリゴリしている。夫も戦争の後遺症で30年間も寝ていた。戦争を喜ぶ人は誰もいない...  
向イ：Yさん...  
今の日本、こんな政策でいいのかと思う、首相ともあるうう人は国全体を考えないといけない。なにしろ、庶民の取れるところからドンドンお金を取ろうとしている。選挙はいつも共産党を応援しているよ。

セミが一斉に泣き出し、暑い夏がやってきました。

8月になると、私は、広島・長崎の原爆を思い起こします。

今年は終戦60年、節目の年。マスコミによる戦争についてのアンケート調査や特集などの報道もされています。最近の調査で、被爆者は、健康に不安を感じ、心に傷を負って生活をしている実態も明らかになっています。

又、この戦争の事を知っている人は6割で、若い世代ほど戦争に対する知識が乏しい傾向にあり、9割近くの人が、戦争を次の世代に伝えたいと思っていることもわかりました。

戦争体験者が減っていくなか、記憶の風化を防ぐためには、戦争についてどんな教育をするのか、カギになっています。

近年、子どもたちが使う教科書を、侵略戦争をアジア開放の戦争と美化している、「新しい教科書をつくる会」扶桑社に変えようとする動きが活発になっています。そればかりか、教育基本法をも変えようとしています。

「戦争はもうたくさんです」過去の歴史から学び、憲法を大切にし、平和な世界実現のため、しっかりとした歴史認識を持ちアジア諸国、さらに世界の国々と力を合わすそのための、平和教育こそ重要になっています。

子どもたちを、「戦争をする国」を担う者にしないために、憲法9条を守る運動を広げ、平和教育を大切にしたいまちづくりをしていきたいと思ひます。

後援会員のみなさん、暑中お見舞い申し上げます。暑いですがどうぞご参加ください。

#### 東海市9条を守る結成のつどい

・8月7日(日) ・東海市勤労センター ・午前10時から12時  
和太鼓・朗読劇・歌声・マリンバ演奏 そしてみなさんと平和憲法9条を守っていくための今後の取り組みなどを確認していきます。

#### タウンミーティングが開かれます!

- ・8月18日(木) 富木島公民館(先日の台風で延期になりました)
- ・8月19日(金) 船島市民館 どちらも午後7時からです。

知多北部3市1町が合併した場合の将来の姿を描いた「新都市ビジョン案」の説明があり、地域のみなさんの意見を交換するためのものです。疑問などを聞きにドンドン参加していきましょう!